

令和4年度 第3回 愛宕小学校 学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和4年11月15日（月）9：30～12：00

2 場 所 愛宕小学校 本館2階 会議室

3 あいさつ

○委員長

稲刈りや海岸清掃等、学校といっしょに活動することができた。地域コーディネーターをはじめ、皆様のご協力のおかげである。

○校長

本日は3年ぶりの授業参観を見ていただいた。保護者と教育活動を共有できる重要な機会を行えたことは大変嬉しい。

4 授業参観

（各委員が自由に各教室の授業を参観）

5 報告（7～11月）

- ・ 1学期の生活事故をふまえた応急手当・生活事故訓練や津波避難訓練の実施
- ・ 原永ナイスミドルの会の皆様・PTAによる奉仕作業・学校施設整備を実施
- ・ 市制80周年レガシー事業による太陽光時計の設置と中庭や学級園等の整備
- ・ 地域の皆様の協力による稲刈り、津波避難訓練の実施。ライブイン愛宕、海岸清掃等の地域主催行事に参加
- ・ 運動会や修学旅行、社会見学といった学校行事の実施
- ・ 教職員の授業力向上のため外部講師による授業研修を実施
- ・ マチコミ（連絡ツール）による欠席連絡の開始

（質疑応答と意見）

- ・ 津波避難訓練の反省を生かし、必要な場所への横断歩道の設置を自治会とともに進めていく必要がある。

6 協議内容

（1）授業参観の感想

- ・ 1～3年生は、入学以来、初めての授業参観。黒板にスクリーンがあったり、子どもが端末を操作して学習したりする等、時代の流れを感じる。最新機器を使った授業に子どもたちみんながついていっていることに驚いた。
- ・ 子どもたちが授業を楽しんでいた。保護者も笑顔だった。今日の親子の会話につながる。できれば今後も実施して行ってほしい。
- ・ 子どもたちの授業の成果や地域行事の様子など、写真や感想を交えた掲示物は、子どもたちの活動を知る良い機会となった。
- ・ 端末を使うと、文字を書く機会が減るのではないか。子どもたち個々に、端末操作のスキルの差が見られる。

- ・ コロナ禍によりあらゆる行事が中止・縮小され、我が子の姿が見られなかったが、授業参観が開催できたことはとても喜ばしい。今後も、コミュニティ・スクールとして保護者・地域とともに子育てを行ってほしい。

⇒ 次回は、1月に参観を実施予定である。ICT支援員さんによる教職員研修を月1回受け、授業に活かしている。端末操作に子どもの差を生まないように、支援を進めていく。

(2) 学校評価指標について

本校の全国学力学習状況調査の結果は、概ね全国平均と同等であるが、十分だとは考えていない。教員の授業力向上に加え、2学期からノート指導にも力を入れている。児童が書いたノートを教員間で見合うことで、わかるノートの作り方や授業改善を図っていく。図書館の利用機会を増やし、読書指導の内容も向上させていきたい。

学習支援ボランティアさんにお世話をいただいている放課後の宿題支援教室では、外国籍児童等、保護者による家庭での学習支援が難しい子どもたちを支えていただいている。地域行事へも、子どもたちをさらに積極的に関わらせたい。

本校職員は時間外労働時間が多いことは課題であるが、一方で職人としての教師の力量を高める自己研鑽を積んでいく必要がある。会議中の留守電対応など、様々な面から業務の改善を図っていきたい。

(質疑応答と意見)

- ・ ノートに書くことと端末学習の両立が容易ではないのではないか。
- ⇒ 子どもたちの発達段階や学習状況に応じた使い分けを工夫していきたい。
- ・ 今後、毎日端末を持ち帰ると聞いたが、端末自体が重く、持ち帰る際の子どもへの負担が懸念される。
- ⇒ 何を持ち帰り、何を学校に置いていくか、負担にならぬよう工夫していく。

(3) いじめ防止基本方針について

毎学期、児童にアンケート調査を行い、積極的な把握に努めている。いじめの早期発見・早期解消のため、複数の教職員が組織的に取り組んでいる。最近の傾向として、LINEのグループ内でのいじめ等、SNSやICT機器での交流がトラブルの場になっている。PTA家庭教育学級では、小学生にスマホは必要か等、スクリーンタイム削減に係る講演会を実施する予定である。

(質疑応答と意見)

- ・ 「いじめは身の回りにある」と考え、先生がアンテナを高くして、子どもたちの状況を早くキャッチしていただけると有難い。子どもに対して家庭内暴力があった場合、いつもと違う様子が見られることがある。そこに先生が気づいて、素早く対応してほしい。
- ・ 子どもたちがスマホを所持することを学校で禁止することはできないだろうか。
- ⇒ 禁止することはできないので、PTA全体で意識を啓発していく。

(4) 危機管理マニュアルについて

1・2学期の学校生活での事故の検証から、マニュアルを見直した。今後も、見直し作業を進めていく。